

市交際費の支出状況



令和3年6月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分 累 計	1 3	10,000 25,000
見 舞 い	今月分 累 計	0 0	0 0
御 祝	今月分 累 計	1 4	10,000 22,480
賛 助	今月分 累 計	0 0	0 0
激励金	今月分 累 計	0 0	0 0
接 遇	今月分 累 計	30 30	60,000 60,000
会 費	今月分 累 計	1 1	11,000 11,000
そ の 他	今月分 累 計	0 0	0 0
合 計	今月分 累 計	33 38	91,000 118,480

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係
☎75-2115

市長コラム

「忌避意識を見つめ直す」
私たちは、意識・無意識にかかわらず何かを避けたいと思うことがあります。外見で人を判断してはいけなさと分かっているものの、つい「いやだな」「一緒にいたくない」などと思うことがあります。
私の兄には障がいがあり、周りからいやな顔をされることがありました。直接的に避けられることはありませんでしたが、その人たちの心の中には「避けたい」という気持ちもあったのではないかと考えたものです。
誰でも「差別するつもりはない」と言うものの、避けようとする気持ちがあれば、差別につながるっていくのではないかと

tomoni ikiru

いでしょうか。例えば、住んでいる場所によって差別される「土地差別」の問題があります。大阪の2000年府民意識調査で家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に「同和地区を避ける」と回答した人は4割弱でした。その理由は「同和地区」に住むと、その出身者となされる可能性があり、それを避けたいという気持ちから生まれる「忌避意識」にあります。
この「避けようとする」忌避意識を見つめ直すことが大切ではないでしょうか。人は、生まれを選ぶことはできません。障がいがあることや同和地区に住んでいることで差別することの愚かさを感じ、差別のない社会を目指していくことがいかに大切かを考える必要があると考えます。
社会教育指導員 木村博重

Message for citizen



市長コラム



毎日暑い日が続いています。

お盆の季節となり、初盆や先祖供養でいそがしさも増えますが、今年はコロナウイルス感染症と熱中症に十分に気をつけ、お健やかに過ごしてください。

さて、7月11日に始めた12歳〜64歳のコロナワクチン接種も順調です。お子さんと一緒に接種するご家族もありました。1回目のあと原則3週間後が2回目、予約は会場です。

未接種の方は、高齢者の方も通常予約で接種は可能です。

ところで、7月当初には政府からのワクチン供給減少という情報もあり、影響は全国の市町村に及ぶという連日のニュースでした。多久市としても心配しました。必要量の確保ができないと予約受付も困難になるからです。そこで、ワクチン保有状況、今後の供給見通しなどを検討しました。その結果、多久市は現在の接種体制を維持し、日

12歳〜64歳もワクチン接種スタート

市長 横尾俊彦

7月20日記

曜日の接種を拡充しても、体制を変えず推進可能と判断でき、中止など行わず、予定通りに対応することとしました。

結果的に県内で最も早く12歳〜64歳の接種を開始することになり、報道されました。

もし想定を超える減少になれば、その場合は、率直に市民の皆様へ事情を説明し、改めて対応をいたします。

現状のワクチン供給はほぼ想定通りです。政府も9月までにその先の見通しを示すとのことですので注視します。

ワクチン接種は普通の暮らしに戻ることの助けになります。

とはいえ接種が完了すれば全く感染しなくなる訳でなく、感染予防は引き続き必要です。こは肝心です。マスク着用、手指消毒などお願いします。

お互い感染せず感染させぬためワクチン接種は重要です。元気に猛暑を乗り越えましょう。